

平成26年10月23日

J R久留米駅でパネル展を開催

～東日本大震災・九州北部豪雨及び道路老朽化対策のパネルを展示～

国土交通省福岡国道事務所では、災害による施設等の被災状況、啓開・復旧への取組事例及び道路老朽化対策における取り組みについて、以下のとおりパネル展を実施します。

【東日本大震災、九州北部豪雨】

平成23年3月11日に発生した巨大地震が引き起こした東日本大震災、平成24年7月11日～14日に九州北部地方で発生した九州北部豪雨はともに甚大な被害をもたらしました。

復旧、復興は今も続いておりますが、地域の防災力の向上と被災地への思いを風化させないようにするとともに、地域・世代を超えて今回の教訓を共有していきます。

【道路老朽化対策】

高度経済成長期に、集中的に建設された橋梁などの道路構造物は、今後急速に高齢化し、10年後には建設後50年を経過する橋梁が4割以上になると見込まれます。

国土交通省では構造物の計画的な点検により早期に損傷を発見し、重大な損傷に至る前に対策を実施する予防保全による維持管理により、道路ストックの長寿命化の取り組みを強化し、道路ストックを長く大切に保全するとともに、安全で安心な道路機能の確保を図っていきます。

記

場 所：J R久留米駅東西自由通路（久留米市城南町2番21号）

日 時：平成26年10月27日（月）～平成26年11月7日（金）

展示内容：東日本大震災・九州北部豪雨の災害記録、道路老朽化対策への取り組み

《問合せ先》

国土交通省 九州地方整備局 福岡国道事務所

電話：092-681-4731（代表）

事業対策官 後藤 清正（内線 408）

計画課長 船井 敏勝（内線 451）

展示パネルの例

